

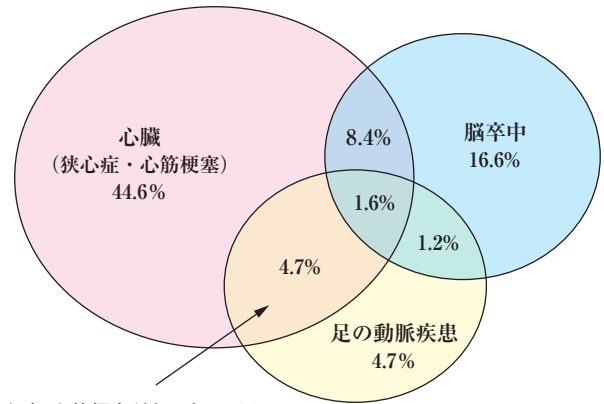
さらに、動脈の病気はひとつ見つかり、実はもうひとつ隠れていることが多いと言われています。例えば、狭心症や心筋梗塞の患者さんの1割は足の動脈がつまっていて、逆に足の動脈疾患がある方は、約半数が狭心症や心筋梗塞があるとされています。(図2・3)

というわけで、このような全身の動脈硬化による病気を的確に、見落とすことなく診断する窓口となる医師の存在が、重要であることがお分かりになられたでしょうか？

循環器内科がどの程度全身の動脈や静脈の病気を網羅して治療ができるかは、実は病院によって大きく異なります。愛知県の病院では、循環器内科は心臓の治療以外は担当していないことがほとんどです。

その中で、当院の循環器内科は、“循環器”、つまり全身の動脈や静脈に関わる病気を調べ、そのほとんど全てを治療することができます。もし皆さんが例えば、足の症状が動脈によるものなのか、関節や筋肉などの病気によるものなのかわからなくても、まずは当科を受診していただきたいと思います。動脈の病気は重症化しやすいので、まずは血管疾患を優先して検査し、必要であれば適切な他の専門科に紹介することができます。

私は、2020年4月に一宮市立市民病院に赴任しました。前職は千葉県の新東京病院で、約9年間勤務していました。この病院は、虚血性心疾患のカテーテル治療件数が年に約2000件(愛知県最大の循環器病院が、年に約1200件です)、下肢動脈の治療件数が約650件と、日本有数の治療実績があるだけでなく、図1の病気のすべてを循環器内科のスタッフでカテーテル治療を行うことができました。私自身、上記の動脈疾患すべてのカテーテル治療に加え、静脈疾患(下肢静脈血栓症、肺塞栓症、鎖骨下静脈閉塞、透析のシャント閉塞)もカテーテル治療を行うことができます。もし血管の病気が心配になったら、当院循環器内科にお気軽にご相談いただければ幸いです。



狭心症・心筋梗塞がある人の10%以上が、足の動脈にも問題がある。足の動脈が狭い人の半数に狭心症や心筋梗塞がある。

Bhatt DL et al. JAMA.2006;295:180-9.

図2：動脈硬化は全身で同時多発的に起こる

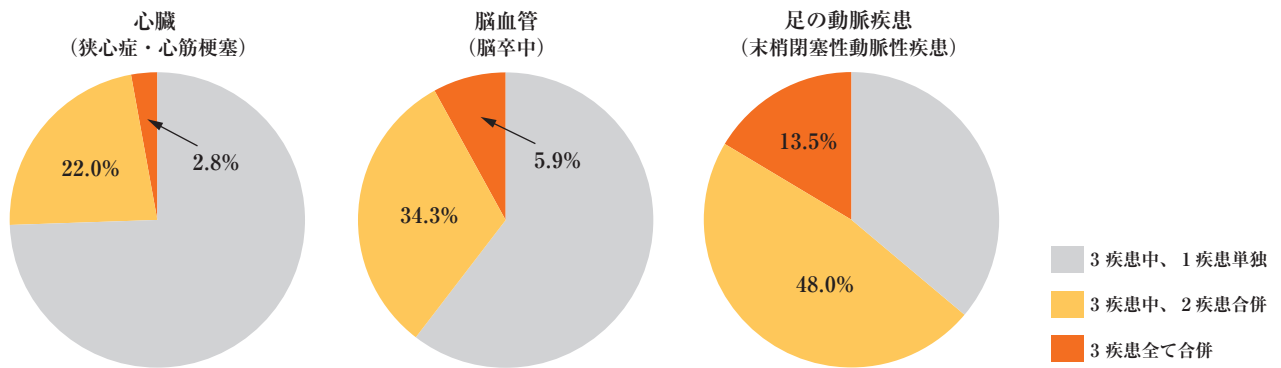
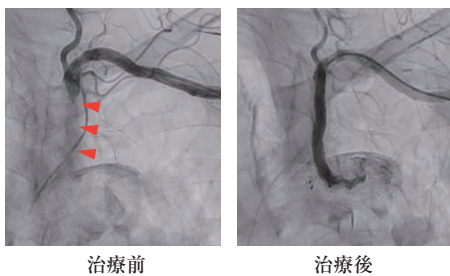


図3：3大動脈硬化性疾患(心臓、脳、足)が全身性動脈硬化でもある割合

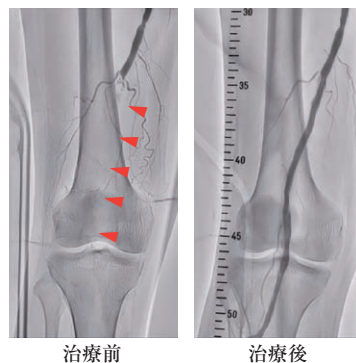
Bhatt DL et al. JAMA.2006;295:180-9.

一宮市立市民病院で行うことができる、血管疾患の治療例

鎖骨下動脈閉塞



浅大腿動脈～膝窩動脈閉塞



透析シャント血栓性閉塞

